

報告事項エ

美術品の購入について

美術品の購入について、別紙のとおり報告します。

平成27年1月19日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

美術品の購入について

平成27年1月19日

博物館

鳥取県美術品取得基金を活用して以下の美術資料(19点)を購入します。

【購入予定作品】

NO	分野	作家名	購入理由	作品名	制作年 (和暦)	材質技法 (員数)	寸法H×W×D (cm)	購入予定価格 (税込千円)
1	近世 絵画	ひじかた とうれい 土方 稻嶺 (1741~1807)	【鳥取県に関係した近世以前の美術作品】 ●鳥取藩の家老・荒尾志摩の家臣であった土方家に生まれ、鳥取藩絵師として召し抱えられ、因幡画壇の祖と呼ばれる。 ●No.1~3は京都を中心に活躍した画業充実期の優品、No.4は大幅の三幅対という力作である。	そうぢず 双雄図	江戸時代後期	絹本着色 (二幅)	(各)97.0×38.0	2,700
2				ろうしやうきしず 老松稚子図	江戸時代後期	絹本着色 (一幅)	95.0×41.0	2,160
3				まつ いんこず 松に音呼図	江戸時代後期	絹本着色 (一幅)	109.5×39.2	1,944
4				だいくぐんりず 大黒・群鯉図	文化元年(1803)・ 文化3年(1806)	絹本墨画淡彩 (三幅)	(中)143.5×56.5 (左右)142.5×56.0	3,240
5		くらた とうこう 黒田 稲卓 (1787~1846)	【鳥取県に関係した近世以前の美術作品】 ●鳥取藩士の林家に生まれ、鳥取藩分家の池田仲雅の近習となり、土方稲嶺について写生画法を学んだ。 ●No.5は鷹を得意としたと伝わる稲卓の優品。 No.6・8は稲卓が最も得意とした鯉図のなかでも質の高い作品、No.7は浦島太郎という珍しい画題に希少性がある。	ろうしやうたかのず 老松鷹之図	江戸時代後期	絹本着色 (一幅)	110.0×49.0	1,296
6				りぎよず 鯉魚図	文政9年(1826)	絹本墨画淡彩 (二幅)	(各)127.0×56.0	1,944
7				うらしまきぎず 浦島騎亀図	江戸時代後期	絹本着色金彩 (一幅)	43.2×54.5	1,080
8				ゆりりず 遊鯉図	天保11年(1840)	絹本着色 (一幅)	112.7×49.0	1,296
9		おぼた とうしやう 小畑 福升 (1812~1886)	【鳥取県に関係した近世以前の美術作品】 ●鳥取市吉方に生まれ、黒田稲卓について画を学び、鳥取藩絵師として召し抱えられ、池田家菩提寺の格天井や藩主の肖像も手掛けた。 ●No.9~12は福升の画業初期から晩年までを網羅する鯉図の優品揃いである。	ぐんりのず 群鯉ノ図	江戸時代末期	紙本墨画淡彩 (一幅)	111.0×46.5	648
10				えんりず 淵鯉図	明治4年(1871)	紙本墨画淡彩 (一幅)	132.7×57.3	864
11				げつか そりりず 月下双鯉図	明治5年(1872)	絹本墨画淡彩 (一幅)	120.5×41.6	864
12				ぐんりひりず 群鯉飛鯉図	明治18年(1885)	紙本墨画淡彩 (一幅)	115.1×70.3	864
13	すが たてひこ 菅 楯彦 (1878~1963)	【鳥取県にゆかりのある近代作家の美術作品】 ●鳥取市の母方の里で生まれ、後に一家で大阪に移る。浪速風俗画を多く手掛け、大阪名誉市民章、倉吉名誉市民賞を受賞。「鳥取県庁」の石版は楯彦の筆になる。 ●No.13は浪速風俗画の貴重な大作、No.14は小品ながら楯彦らしい軽妙な筆致が魅力の優品である。	なんかくしめんしやう 南郭春宵	1946年(昭和21年)	紙本着色 (一面)	105×127	2,500	
14			らんじん 雷神	大正~昭和初期頃	絹本墨画金泥 (一幅)	21.8×60.0(扇面)	270	
15	近代 日本画	こばやかわ しやうせい 小早川 秋聲 (1888~1974)	【鳥取県にゆかりのある近代作家の美術作品】 ●日野郡日野町の光徳寺住職・小早川鉄僊の長男として生まれ、戦時中は従軍画家としてたびたび大陸に派遣され、終戦まで多くの戦争画を描いた。 ●大作の屏風であり希少価値が高く、不思議な魅力を持つ作品である。	もうじんず 盲人図	大正~昭和初期頃	絹本着色 (二曲一双)	(各)189.0×173.0	1,400
16	はしもと こうふう 橋本 光風 (1900~1975)	【鳥取県にゆかりのある近代作家の美術作品】 ●鳥取県岩美郡岩美町宇白地の旧家・橋本家に生まれ、独学で漆画を会得。日本漆画院長、京都漆画院長。 ●漆絵という珍しい作品で、質も高い。	ぼたんず 牡丹図	大正~昭和初期頃	絹本着色 (一幅)	121.7×41.3	76	
17	現代 工芸	せと ひろし 瀬戸 浩 (1941~1994)	【鳥取県にゆかりのある現代作家の美術作品】 ●徳島市に生まれ、小・中・高校時代を鳥取市で過ごす。アメリカやオーストラリアの大学で陶芸の指導をするなど、国際的に活躍した。 ●No.17・18にはアメリカ陶芸の影響が顕著に表れており、時代性がうかがえる。No.19は瀬戸のバブルクアーティストとしての活動を知る上で重要な作品である。	ぎん 銀ストライプ壺	1970年代	陶器 (一点)	高さ22.5/ 直径15.0	162
18				せきとうちいじんしやうもんつぽ 赤桃彩金條文壺	1973年(昭和48年)	陶器 (一点)	高さ25.5/ 直径30.5	540
19				まぐひん オブジェ作品	1987年(昭和62年)	陶 (一点)	縦39.5/ 横39.5 厚さ8.5	324
計					19点			24,172

【参考：近年の購入状況】

年度	購入金額	内 訳	
H25	29,258	5点	絵画4点、彫刻1点
H24	33,890	53点	絵画19点、写真31点、彫刻3点
H23	36,855	13点	絵画8点、彫刻2点、工芸3点



01

02

03

04



05

06

07

08



09(6)

10(7)

11(10)

12



13

14

- 2 -

15,1

15,2



16



17



18



19